

第21回 山梨県介護老人保健施設大会抄録用紙

演 題	感染0を目指して
副 題	職員の感染への意識の向上に向けて

フリガナ	カイゴロウジンホケンシセツカツヌマナーシングセンター
施 設 名	介護老人保健施設勝沼ナーシングセンター
フリガナ	ヒラノヨシコ フルヤトシコ
発表者(職名・氏名)	看護師 平野好子 古屋俊子
フリガナ	ノザワマスミ
共同研究者	野澤ますみ

【はじめに】

当施設では、開設当初より感染対策委員会を設置しマニュアルを作成、感染予防に取り組んできた。しかし毎年数名ではあるが職員・利用者ともにインフルエンザが発症する状況があった。その都度、マニュアルの見直し、対策の検討を行ってきた。また定期的に学習会を開き職員の感染防止に対する意識・スキル向上に努めた。

平成29年冬に全国的にインフルエンザが警戒レベルとなり当施設でもウイルスを施設内に持ち込まない為、12月より中学生以下の面会制限や一般的な予防対策の徹底を行ってきた。その結果、利用者様の発生はなかったが、老健、ショート、グループホーム、通所職員19名の感染が認められた為、インフルエンザに対しての知識や予防法が身につけていないのではないかと考え全職員を対象にアンケート調査を実施した。その結果を報告する。

【方法】

3月にアンケート調査実施

【対象者】

全職員（パート、事務職員）76名  
老健、ショート、グループホーム、通所

【アンケート内容】

- ①インフルエンザについて知っていますか
- ②感染予防としてどんな方法がありますか
- ③体調管理は行っていましたか
- ④インフルエンザにかかりましたか、どんな対処をしましたか
- ⑤施設内にウイルスを持ち込まない為にはどうしたら良いと考えますか
- ⑥家族にかかった方はいますか、また家庭内感染の予防を行ったか、どんな予防を行ったか

【結果】

回答 85.3%

- ①知っている 68.4% 知らない 25% 無回答 6.5%
- ②解っている 98%
- ③行っていた 77.6%
- ④はい 31.5% いいえ 68.5%
- ⑤回答 92.1% 無回答 7.8%
- ⑥はい 31.5%

【考察 まとめ】

1月にインフルエンザについての勉強会を行い、その後のアンケート調査から手洗い、うがい、マスクの必要性は知っているが感染経路、ウイルスなどについて十分な理解はできていない。また、施設内では周りの目やお互いの注意などで適切な予防ができていますが、施設以外の場所では行っていないという事がわかる。このことから「できない」のではなく能力的には可能だが実施しようとしなないことが問題なのではないかと推測した。今後、感染対策委員会と研修委員会の協力で更に知識と意識を向上する研修を実施し、全職員が同じ知識を共有し実施できるようにしていきたい。